



↑（写真右から）清水良二さん、山口武久さん、新立豊さん

葦北郡で実年チームを結成し、四年目にして熊本大会でチームメイトに助けられながら四試合完投して初優勝することができました。熊本県大会で優勝するのは到底かなわぬことと考えていましたので、喜びも一しおで九州大会に向けての練習にも熱が入り、チームの絆が一段と強まってきました。九州大会では九州各県からそれぞれ強豪チームが二チーム出場し長崎県で行われました。本町から山口武久さん・新立豊さんも出場して、一回戦は長崎県代表に勝利し、二回戦で福岡県代表に残念ながら敗れました。野球は一人ではあるスポーツではないので、特にチームの仲間を大事にしその中で協力しながら、今年も九州大会に出場し、今回以上の成績を残すことを目標に頑張っていきたいと思っています。また、津奈木町のスポーツ振興のためにも各種行事に参加しながら色々と協力していきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

赤崎地域の思い「きらら海」 きらら海会長 松田昭一

赤崎小学校が平成22年3月をもって閉校を迎え寂しい思いが漂う中、赤崎を愛する人たちが立ち上がった。その名は「赤崎きらら海」。この会の名称の由来は、赤崎から一望できる美しい不知火海のように、きらら光輝いて行こうという思いから名付けました。また、赤崎小学校校歌の詞にも『天草島 雲か はるかに きらら きらら 輝くは』とあるように、赤崎地域民として輝いていたいからです。

さて、赤崎きらら海を紹介させていただきます。私は、子供会でもなく青年団でもありません。従って、子供がいる家庭だけ、大人だけとかの会ではなく幅広く入会できる会を目指しています。そして、赤崎きらら海の22年度活動内容は、11/3赤崎の子供達による将軍神社祭での赤崎フイ太鼓と赤崎小学校の校歌斉唱、11/28芦北スカイドームでのYOSAKOIソーラン踊りの披露、最後に12/5に漁村センターで行った餅つき大会です。この餅つき大会は、大人と子供が力を合わせて搗いた餅の他、豚汁、赤飯をつくり多くの方に美味しーと言ってもらって頂き、大盛況に終わることができたと思います。また、旧婦人会の方も「あんなら若々かもんや、子供達がするこつやもんね、手伝わんばどげんすっね」と言って、手伝いに駆けつけてくださいました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。来年度からは、少しずつ活動内容も増やして、益々盛り上げて行こうと考えています。

これからも赤崎きらら海は、赤崎の宝である赤崎の美しい海、地域の皆さん、そして何より大切な子供達を、大事に、大事にして行きたいと思っていますので応援、宜しくお願い致します。



短歌

つなぎ短歌会

季の異常青空の下柿の実の
今年は生らず鴨も影なし

寺本ツルヲ

冷えしきる朝の海に霧たちて
網ひく舟も今朝は見えざり

西 滋子

いましばし散るをどめよ銀杏の
夕日に映える黄葉のかがやき

野田浦子

ひととせのめぐりは早し小春日の
庭に尉鷗渡り来しかな

加来道子

焼酎のさかなに添えしなますなり
寒夜なれども気分上々

金口 絹

肥後狂句

女ごころ

いつも誰かに 恋したい
年のはじめ

平穏無事を 祈ります

達 生

女ごころ

男にやわからん 胸の内
年のはじめ

呆けのはじめの 芽出度さよ

宰 相

女ごころ

男まさりの 持ち合わせ
年のはじめ

全とうしたい マニフェスト

寅之助

女ごころ

秋の空とは けしからん
年のはじめ

今年こそはと 言うばかり

万 葉

〔次回の笠〕

○短気もん

○内輪もめ

一笠一句を

二月七日（月）迄

津奈木町教育委員会へ